

「海ゴミ」問題に挑む循環型社会システム工学

主催：九州大学大学院工学研究院附属循環型社会システム工学研究センター・一般社団法人日本経営協会

日時：平成29年6月21日(水) 13:00 - 16:00

会場：福岡国際センター 1階セミナー会場・B (定員:100名)

聴講無料

※事前登録が必要です

「海ゴミ」(海の漂流・漂着ゴミ)は海洋環境問題ですが、原因は主に陸域での人間活動にあります。大量廃棄社会の末路というべきこの問題は、循環型社会への変革なしには解決しそうもありません。

海ゴミの今まで見過ごされてきた驚愕するような状況は、先端研究や基礎研究だけでなく、科学技術の啓発やビジネス関係も含む多様な主体の協働も必要です。

循環型社会の関連分野がシステム工学的にこの問題に挑み、解決を目指す状況をお伝えします。

プログラム案

- | | | |
|--------------------------|--------|---|
| 13:00 - 13:15
(計 30分) | 【開会挨拶】 | 附属循環型社会システム工学研究センター長 原 一広 |
| | 【趣旨説明】 | 九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 准教授 清野 聡子 |
| 13:30 - 14:15
(45分) | 【講演Ⅰ】 | 「漂着流木の有効利用の課題と展望」
九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 准教授 中山 裕文 |
| 14:20 - 15:05
(45分) | 【講演Ⅱ】 | 「水生生物における 2 μ m マイクロビーズの取り込みとその反応」
九州大学大学院農学研究院 資源生物科学部門 教授 大嶋 雄治 |
| 15:10 - 15:55
(45分) | 【講演Ⅲ】 | 「海ゴミから考える持続可能な社会形成と多様な主体の参加」および地域活動事例
九州大学大学院工学研究院 環境社会部門 准教授 清野 聡子 ほか |
| 15:55 - 16:10
(計 15分) | 【総合討論】 | 講演者 |
| | 【閉会挨拶】 | |

(※講演の間に5分休憩)